

日本医療企画 好評本のご案内

「介護福祉」を21世紀の最大成長分野に  
押し上げるイノベーション教材!!

「介護福祉経営士1級」資格認定試験対応

# 『介護福祉経営士 テキストシリーズ』

## 実践編 (全11巻)



### 【実践編Ⅰ】(全4巻)

- 第1巻 **介護福祉経営概論**  
—生き残るための経営戦略
- 第2巻 **介護福祉コミュニケーション**  
—ES、CS向上のための会話・対応術
- 第3巻 **事務管理/人事・労務管理**  
—求められる意識改革と実践事例
- 第4巻 **介護福祉財務会計**  
—強い経営基盤はお金が生み出す

### 【実践編Ⅱ】(全7巻)

- 第1巻 **組織構築・運営**  
—良質の介護福祉サービス提供を目指して
- 第2巻 **介護福祉マーケティングと経営戦略**  
—エリアとニーズのとらえ方
- 第3巻 **介護福祉ITシステム**  
—効率運営のための実践手引き
- 第4巻 **リハビリテーション・マネジメント**  
—QOL向上のための哲学
- 第5巻 **医療・介護福祉連携とチーム介護**  
—全体最適への早道
- 第6巻 **介護事故と安全管理**  
—その現実と対策
- 第7巻 **リーダーシップとメンバーシップ、モチベーション**  
—成功する人材を輩出する現場づくりとその条件

■体裁 各巻 B5判/並製  
 ■定価 各巻 本体2,500円+税  
 ■総監修 **江草安彦** 社会福祉法人旭川荘名誉理事長  
           **大橋謙策** 川崎医療福祉大学名誉学長  
           **北島政樹** 公益財団法人テクノエイド協会理事長  
                   元・日本社会事業大学学長  
                   国際医療福祉大学学長

(株)日本医療企画  
 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル  
 ☎03-3256-7495 ☎03-3256-2865  
 北海道支社 ☎011-223-5125 東北支社 ☎022-281-8536 関東支社 ☎03-3256-2885  
 北信越支社 ☎076-231-7791 中部支社 ☎052-209-5451 関西支社 ☎06-7660-1761  
 九州支社 ☎092-418-2828

詳しくは    
 ご注文はインターネットが便利です/全国書店でもお求めになれます  
<http://www.jmp.co.jp/>

SUN  
 2020 冬号 第27号  
 季刊誌年4回発行 通巻27号 2020年1月1日発行 ISBN978-4-663-09183-4 C03034  
 発行/一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 TEL:03-3256-7495 東京都千代田区神田東松下町17-12 神田ビル3階 http://www.nkkg.jp  
 発売/株式会社日本医療企画 TEL:編集部 03-3256-7495 営業部 03-3256-2885

定価1100円 本体1000円

年4回発行 2020年1月1日発行 通巻27号  
「介護福祉経営士」情報誌

Specialists for Upcoming Needs

# SUN

2020  
冬  
No.27

第27号

### ■巻頭言

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事  
社会福祉法人東京聖新会理事/日本福祉大学教授  
一般社団法人ユニバーサルアクセシビリティ評価機構代表理事

尾林 和子

### 【特集】

## これから求められるリーダーとは

### 特別座談会

## 30代 介護福祉経営士が考える 理想のリーダー像

坪 真毅/佐野武志/溝口寛之/山野井千歳

### 【連載】

## 他業界の動向 第10回 旅行業界

株式会社JTB/株式会社エイチ・アイ・エス/全日本空輸株式会社

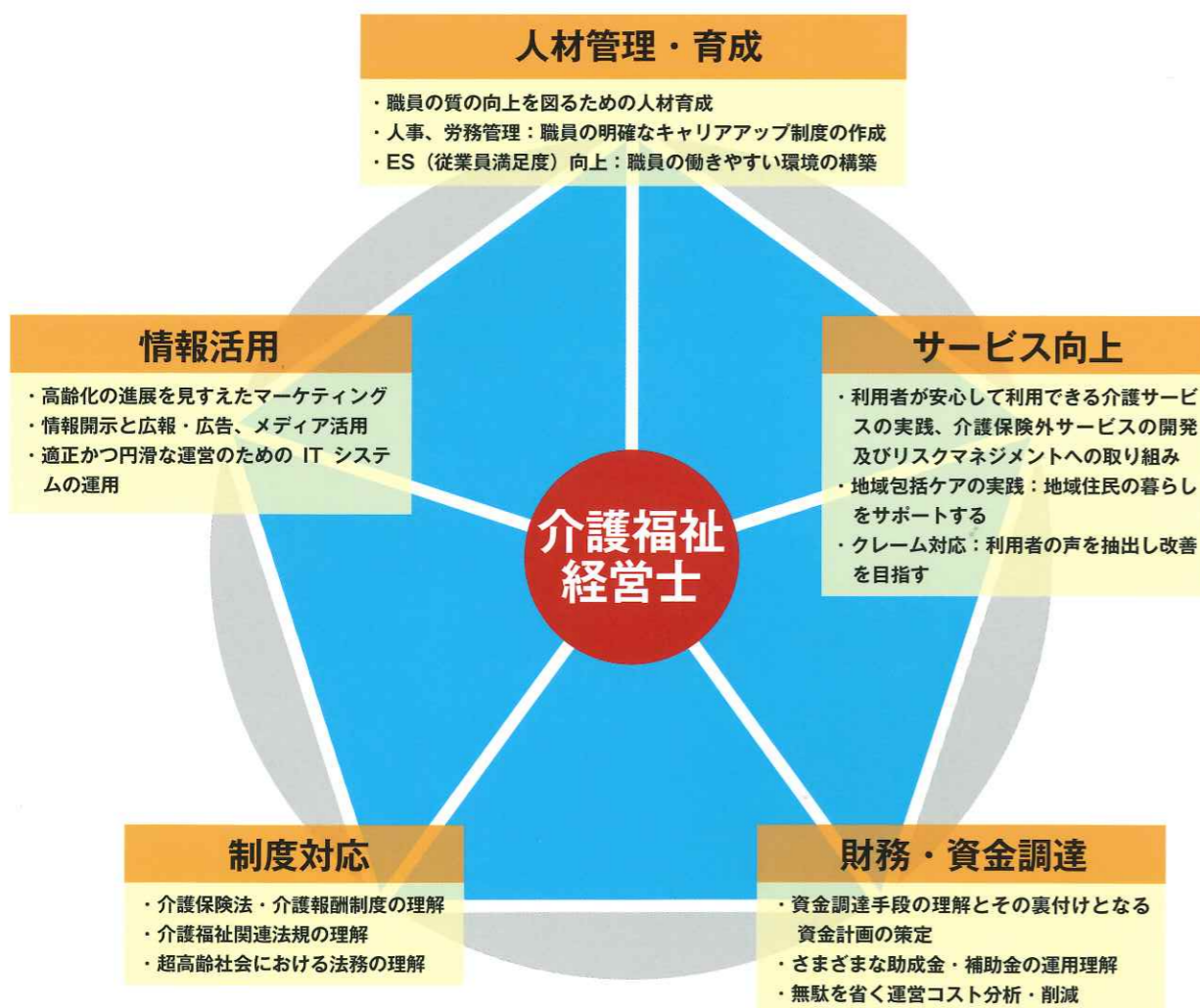
一般社団法人  
日本介護福祉経営人材教育協会



# K 介護福祉経営士とは

介護福祉経営に関する法制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成など多岐にわたる知識を修得し、かつ、実務の現場において広くその知識・経験を発揮できる、「介護福祉分野の経営」を担う専門職です。

## 介護福祉経営士が担う職務



## ◎巻頭言 — 介護福祉経営士の皆様へ

# 「超少子超超高齢多死社会」を迎える 日本に新しい哲学が求められる — ヒトのヒトによるヒトのための介護



一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事  
社会福祉法人東京聖新会理事／日本福祉大学教授  
一般社団法人ユニバーサルアクセシビリティ評価機構代表理事

## 尾林 和子

1980年、日本の高齢化率は一桁台でした。当時爆発的に増えた若年人口は、減少し続けています。2003年には年間の死亡者数は出生数を超え、人口減少はこれからも加速されます。日本はまさに世界トップの「超少子超超高齢多死社会」となっているのです。これは人類史上初の体験であり、このあとに続く超少子超超高齢多死社会を迎える国々は、日本の今後の行方を、固唾をのんで注視しています。日本が超超高齢社会の先駆者として果たすべき役割は、非常に大きく深いのです。

そのようななか、介護人材の確保は大きな課題です。解決策の1つは外国人介護人材の確保ですが、この対策は必要ではあるもののこれだけでは抜本的な解決とはいえません。これから私たち介護福祉経営者には、世界の情勢を見極め、情報社会の発展を読み、不確定な未来社会を可能な限り予測して介護システムの構築をめざすことが求められています。

日本ではSociety5.0型の社会を基本コンセプトとして、介護現場でのロボット・ICTの開発導入が始まっています。これは、「文化」が成熟するにつれて多様化する社会のニーズを「情報」として捉えることが前提です。この「情報」を人の「より豊かな暮らし」を保証する糧と変えるのがAIを始めとする各種テクノロジーの役割です。つまり、ロボット、IoT、人工知能(AI)、ビッグデータ等の先端技術を社会生活全般に取り入れ、格差なく、多様なニーズにき

め細かに対応したモノやサービスを提供するという事なのです。言うは易く行うは難しですが、私たちは、さまざまな社会ツールを連携させ、「超少子超超高齢多死社会」が要求する課題に答えていなくてはなりません。

多様化したニーズはあらゆる介護領域に及びます。個々のニーズを捉えるためには何よりも正確な情報が必要です。介護はアナログで良いで済ませるのではなく、私たちの課題の一部を「情報」に変えて、それが得意なテクノロジーに担ってもらいましょう。

ケアに支えられるヒトは、ヒトによるケアを求めます。支えるヒトの真心の根底にあるのは直接「ヒトにかかわる」ことです。「ヒトとヒトをつなぐ」結節点にテクノロジーは今、存在しています。「モノとモノをつなぐ」だけではなくICT・ロボットテクノロジーを駆使することによって「ヒトとヒトをつなぐ」これこそが私たちが最も大切にしていることではないでしょうか。

ヒトも世界も変わりつつあります。

ヒトの側の需要は、その時代時代で変わります。サービスを提供する側、される側と固定的に分けるのではなく、テクノロジーを活用することにより「ヒトのヒトによるヒトのための介護」という新たな価値観をつくり上げていく時代が来ています。「超少子超超高齢多死社会」を迎える日本には新しい哲学が必要なのです。